

を7色に変化させる事が出来る。一見カラフルなだけのVU計だが、将来的に「LLM-mini」で採用したようなラウドネスレベルの確認方法をVU計に埋め込む計画を考えているようだ。目の前がパチンコ台のようにチカチカとして賛否両論があるかも知れないが、個人的には登場を期待している。

ヤマキ電気ブースではラウドネスインジケータ「LLM-mini」の展示があった(写真18)。AESで入力された信号のラウドネスレベルを演算して、LEDで表示する製品。適正レベルの範囲に入ると緑色に発光する。表示を簡略化して小型化しているため、既存のVU計等の横にコンパクトに置いて必要最低限な情報が確認出来る。また8連のVU計「VUM-D208」(写真19)も展示されていた。メーターの機能としては昔ながらのVU計なのだが、多色発光LEDを使用していて文字盤



写真18 ラウドネスインジケータ「LLM-mini」(左)、  
VUモニター「VUM-D82H」(右)



写真19 ヤマキ電気VUモニター「VUM-D208」(下)